「親と子の20分間読書」運動

読書は、子どもが言葉や文字に触れ、豊かな感性や情緒の基盤を育むとともに表現力を高め、想像力を豊かにするものです。「親と子の 20 分間読書」運動を通じて、親と子のふれあいを大切にする家庭を築いていきましょう。

問市生涯学習課　TEL 0994-31-1138

「親と子の 20 分間読書」運動とは

- 家庭で子どもが声に出して本を読む。
- そのとなりで家族がじっと耳を傾ける。
- 読み終わったら親子で本の内容について感想を言ったり褒めたりする。

ポイント！

1 身近なところに本を置く
2 毎日続ける
3 聞き上手になる

詳しい内容はホームページ

親子で取り組んでいます！

私は、生活の一部に本を取り入れて3人の子育てをしています。長男、長女、次女とそれぞれが産まれてから100日目のお祝いとして市の図書利用カードを作りました。毎回子どもたちと一緒に図書館に行き1人10冊ずつ絵本を借りています。最初の頃は私が絵本を選んでいましたが、だんだん成長するにつれ自分で好きな本を選んでくるようになり、今では子どもたちに自由に選ばせています。ときには季節に合わせて梅雨には、おたまじゃくしの本、年末年始は、十二支の本など興味が湧くような本も選びます。自宅のリビングや子どもの寝室に本棚を置いていつでも好きなときに本に触れることができるようにしています。読み聞かせは、子どもたちが寝る前に毎晩続けており、子どもたちのリクエストに応じた本を読んであげます。子どもが自分で本を読むときには耳を傾けて、読み終わったあとは必ず「上手に読めたね」とか「繰り返しの言葉が面白かったね」などと声をかけるようにしています。これからも家族で一緒に読書を続けていきたいです。

前原（まえはら） 直美（なおみ）さん（34 歳）
想乃（その）ちゃん（５歳）心乃（ここの）ちゃん（１歳）

本は楽しいよ！

「本の物語は最後まで読んでみないと分からないところがワクワクする」と話す。剣道を頑張っているしっかり者のお兄ちゃん。将来の夢は、すし屋さんになること。

前原（まえはら） 一心（いっしん）くん
（東原小２年）

▲寝室にある本棚

もっと身近に

市では本をもっと身近に感じてもらうよう巡回サービスや、本棚設置など本に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

移動図書館「ほたる号」

移動図書館「ほたる号」は、約 3,000 冊の本を積んで市内の主な小中学校や学習センターなど 61 の施設を 12 のコースに分かれて毎月１回巡回しています。運転免許証などの身分証があれば図書利用カードが即時発行でき、その場で借りることが可能。市立図書館や市役所などの主な施設でも返却できます。

問市立図書館　TEL 0994-43-9380

▲巡回日程表

KITADA SARUGGA の様子

まちなか図書館

KITADA（キタダ） SARUGGA（サルッガ）やリナシティかのやなど市内 11 か所に 16 の本棚を設置しています。どなたでも自由に本を読むことができ、図書利用カードがなくてもそのまま本を借りて帰ることもできます。読み終わった本は、「まちなか図書館」であれば、どこでも返却できます。

ブックスタートに取り組んでいる
大城戸（おおきど） 亜美（あみ）さん（35 歳）
謙（ゆずる）くん（１歳）

たくさんの本を読んであげたい

私が子どもの頃、母親からよく本の読み聞かせをしてもらっていたので、育児に読み聞かせを取り入れて、息子にもたくさんの本を読んであげたいです。

ブックスタート

絵本を開く楽しい体験と一緒に、親子で心触れ合うひとときが持てますようにとの願いを込めて、絵本のプレゼントを行っています。

※健診の中止等で絵本をまだ受け取っていない概ね１歳までのお子さんの保護者はお問い合わせ下さい。

問市生涯学習課
TEL 0994-31-1138

▲配布している絵本